

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA SOUTH-WEST



広島西南ロータリークラブ会報

Lend a Hand ~手を貸そう~

会長/村尾 博司 幹事/曾里 裕 例会場/広島全日空ホテル 広島市中区中町 7-20
副会長/濱田 公重 副幹事/杉川 聡 事務局/広島市中区基町 6-78 リーガロイヤルホテル広島 13F
会報誌誌委員長/谷口 公啓

■ 会長時間

本日は第2週ですので先週行われた理事会の報告を致します。

まず、委員会活動の予定を申し上げます。新世代奉仕委員会は11月15日の土曜日に津田子供の家で歯科検診を行います。予算は¥30,000程度かかりますが、これは家族委員会の予算を使います。親睦委員会は12月24日のクリスマスイヴの日に夜間の家族例会を行います。会費は会員¥10,000、家族¥8,000と致します。

次に世界大会出席の件です。日本で世界大会が行われるのは何十年に一回の事です。費用は登録料\$300です。外国で行われる世界大会であれば30万~40万はかかりますから、日本でされる本大会の出席費用は格安という事になります。ロータリアンの一人として一度は世界大会に出席したいものです。めったにないチャンスですので是非出席下さるようお願い致します。

最後は米山梅吉記念館から、寄付の要請が来ています。これは委員会活動とは関係ありませんが、一人当たり¥100と小額ですので、寄付下さるようお願い致します。方法は色々ありますが今回はSAA委員会にお願いして次週ザルを持って皆さんの席へ参りますので100円をポケットに入れておいて頂ければ幸いです。

以上理事会の報告を申し上げ、会長時間を終わらせて頂きます。

結婚記念月

村尾会員、藤居会員、平石会員、野村会員、
岡本俊雄会員、小林会員、廣瀬会員、石井和彦会員
山下哲夫会員、宮本会員、谷口会員、佐古会員
米山功労者認証状贈呈
中村会員(2回目)

■ 幹事会務報告

本日、例会終了後クラブ協議会を開催致します。

例会変更のお知らせ

広島北RC 夜間親睦例会
11月20日(木)
ちゃんこ江戸沢府中店

■ 出席報告

本日(11月11日・火曜日)

会員数	66名	出席者	55名
欠席者	11名	ご来客	1名
ご来賓	0名	ゲスト	1名

前々回(第828回例会 10月28日・火曜日)

会員数	66名	免除者	4名
出席者	51名	欠席者	11名
メ・キャップ	10名	出席率	98.39%

■ 委員会報告

出席委員会 石井裕委員長

当委員会の事業計画の一環として、会員の健康管理のため、本年も木下会員のご協力のもと、インフルエンザの予防接種を行います。詳しくはご案内をボックスに配布致しましたので、ご一読下さい。

国際奉仕委員会 大野委員長

来年大阪で行われます、国際大会のご案内をボックスに配布させて頂きました。クラブでまとめて申し込めば、参加費その他で有利になります。ご案内をお読みになり、是非とも参加申し込みをお願い致します。

■ スマイルボックス

自主申告 万歳会員

本日11月11日から17日までは「税を知る週間」です。税理士を仕事とする立場から、出宝させて頂きます。

自主申告 三好会員

この度、私が作詞・作曲した歌と対談がFM放送でオンエアされることになりました、ご支援下さ

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

<http://hiroshima.southwest.rotary2710.net>

れば幸甚です。時間は毎週火曜日夕方の6時30分前後。「麻美のミュージックトラベル」という番組で、広島Pステーション(FM:76.6MHz)です。どうぞ宜しく。

今月結婚記念月をお迎えになられた会員のご出宝をお願い致します。

第200回芝楽会記念大会入賞おめでとうございます。

優勝：野村夫人、準優勝：野村会員

第201回芝楽会入賞おめでとうございます。

優勝：村尾会員、準優勝：佐々木会員

■ 会員卓話 ～ロータリー財団月間について～

ロータリー財団委員長 山田 睦治 会員

こんにちは。ロータリー財団委員長を勤めさせていただいています、山田です。本年度の当委員会の構成は、私のほか、今井会員、三好会員の3名です。

先週の会長時間にも話されましたが、11月はロータリー財団月間です。皆さんご存知のように、昨今の経済状態によるとロータリー財団としての動きには、なかなか厳しいものがあると感じております。

そこで今週はDDFについて、村尾会長にお話をお願いいたしております。その後更なるご理解とご協力を得るため、ビデオを見ていただきます。

ビデオの内容は、

- 参加しよう、ロータリー財団
- ポール・ハリス・フェロー：世界中で善行を行う人々

と、なっております。

宜しくお願い致します。

<村尾会長 ～DDFについて～>

<ビデオ上映>

■ 参考資料1 (ロータリーの源流 <http://www1.odn.ne.jp/~caz52570/index.htm>、より)

<ロータリー財団>

1917年、アトランタで開催された国際大会で、R I会長アーチ・クランフの提唱によって、「人間を育てる教育のための奉仕基金」アーチ・クランフ基金が創設されました。同年創立されたライオンズクラブの募金活動に刺激されたとも考えられ、何の根拠もなく極めて唐突であったため、募金も思うように集まらず、最初に寄せられた寄付金は、その翌年カンサスシティで開催された国際大会の余剰金26ドル50セントであったといわれています。1923年、関東大震災に際してロータリー財団から多額の義捐金が寄せられたという説に関しては、当時基金にはそんなに多額の金が集まっていたとは考えられず、R I本会計の中に当時からあった災害援助金から支出されたと解釈

する方が妥当かも知れません。

1928年ロータリー財団となり、1931年、信託宣言がなされましたが、国際間の緊張が続いた時期のためか、これと言った活動記録は残っていません。1945年、第二次世界大戦終了に伴って、高等教育のためのロータリー財団奨学金制度、各国の国民の間に国際理解と友好関係を進めることを目的とした、確実に効果的なプロジェクトの育成、戦争や災害により、破壊や損害を被ったロータリアンと家族のための緊急時の救済方法の準備を目的として本格的な活動が開始されました。

■ 参考資料2 (ロータリーの手引きより)

3-9 シェア・システム (P168)

ロータリー財団管理委員会は1991～92年度より財団への寄付金の使途について、各地区に発言権を与えると共に、地区が関心のあるプログラムを選択出来るように、シェアシステム(共有)の制度を開発し、かつロータリー財団が財団のプログラムの中で選択していた、意思決定権の一部を地区に分与(シェア)しました。

シェアシステムの制度は、総べての地区の一般寄付をロータリー年度末に集計し地区財団活動資金60%と、国際財団活動資金40%の二つに分けられ、3年後に使われます。

(1) 地区財団活動資金 (DDF) (P168)

地区内で集められた一般寄付の60%が地区財団活動資金となり、ガバナーは、ガバナー・エレクト、その次のガバナー・エレクト、地区財団委員長、地区内ロータリアンと協議して、財団管理委員会から提出されたカタログの中からどのプログラムを選ぶかを決め、財団管理委員会に報告します。但しこれは、従来通り3年後に実施されるプログラムで使用されます。

(2) 国際財団活動資金 (WF) (P168)

地区内で集められた一般寄付の40%は国際財団活動資金となり、財団が実施しているすべての財団プログラムの資金となります。

1. 研究グループ交換補助金
2. 3H補助金
3. 同額補助金
4. ロータリー・ボランティア補助金
5. 競争制奨学金
6. ロータリー平和プログラム
7. 新プログラム
8. 試験的プログラム

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

<http://hiroshima.southwest.rotary2710.net>